岡田山撤去連絡協議会通信

第１９号　令和８年１０月発行

第２６回　岡田山撤去連絡協議会を開催しました

令和８年９月９日、第２６回協議会を開催し、岡田山撤去事業の進捗状況等を確認しました。

構成員、会長、副会長の選任等

第２６回協議会では、構成員、会長、副会長を選任しました。地元深草学区からは、構成員として、自治連合会副会長の荒川氏を新たに選任したほかは、前年度までの方々を再任しました。

また、北川会長、森澤副会長、酒井副会長を再任しました。（メンバーは裏面をご参照ください。）



岡田山撤去の進捗状況・環境調査結果・交通量調査結果の報告



㈱HIRAYAMA 及び京都市環境政策局から、岡田山撤去の進捗状況、環境調査結果、交通量調査結果の報告がありました。

令和７年度の年間撤去量は、60,864 ㎥となり、計画量以上に撤去が進んでいることを確認しました。令和８年度も順調に撤去が進んでおり、７月末時点で岡田山全体の約 74%にあたる 591,761 ㎥の撤去が完了しています。

令和７年度の環境調査（大気，水質、土壌等）及び交通量調査の結果については、通信第１７号、第１８号でお知らせしましたとおり、６月及び８月実施の調査において「鉛及びその化合物」の基準超過がありました（対応済）が、その後の調査は、すべて基準値以内でした。周辺へ影響を及ぼすものはみられず、岡田山の撤去が適正に進められていることを確認しました。引き続き、安全に撤去を進めてもらうよう、意見を伝えました。

回覧															

【岡田山撤去の進捗状況（定点撮影）】



（令和８年９月撮影）



（平成２３年１２月撮影）

岡田山の背後に写るのが「大岩山」です。平成２３年に撮影した右の写真と比べ、令和８年に撮影した左の写真は、大岩山の見える範囲が大きくなっています。現在の岡田山の形状は、赤の破線ですので、岡田山の頂上部分がなくなるなど、撤去が進んでいることが分かります。

また、京都市の違反指導により、手前にあった建築物の撤去が大幅に進んでいることも分かります。

岡田山の撤去と岡田山撤去連絡協議会について

通称「岡田山」は、稲荷山南山麓から名神高速道路の間の「大岩街道周辺地域」にある、過去に倒産した産業廃棄物処理業者が、土やガレキ類等の建設系混合廃棄物を積み上げたものです。

「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、現在の地権者の一人である㈱HIRAYAMA が、京都市の指導監督の下、自社の廃棄物中間処理業と並行して、令和 11 年度末を目処に岡田山を完全撤去します。

岡田山撤去連絡協議会は、岡田山撤去中の周辺地域の安全確保と生活環境を守るため、深草学区自治連合会・㈱HIRAYAMA・京都市の三者で締結した協定に基づく協議会であり、深草学区各種団体の会長等の参画により、岡田山撤去に関する協議・連絡調整を行っています。

■ お問い合わせ先

・連絡協議会に関すること
深草支所　大岩街道周辺地域環境整備担当
電話：０７５－６４２－３１７５

・岡田山撤去に関すること
京都市環境政策局　廃棄物指導課
電話：０７５－２２２－３９５７

・周辺の環境調査に関すること
京都市環境政策局　環境保全創造課
電話：０７５－２２２－３９５５

■ インターネットで岡田山撤去の取組のページを設けています。

・【岡田山撤去の取組】で 検索
→「京都市伏見区役所：岡田山撤去の取組」を選択してください。

・【岡田山撤去　進捗状況】で 検索
→「岡田山撤去の進捗状況及び環境調査結果について-京都市」を選択してください。

発行：岡田山撤去連絡協議会（地元構成員）

会　長　北川　晃（東部地域環境対策推進協議会 会長）
副会長　森澤　幸次（自治連合会 会長）、（自主防災会 会長）
　　酒井　彦三（交通安全推進委員会 会長）
構成員　岩知道　志郎（自治連合会 副会長）、荒川　勝司（自治連合会 副会長）
　　島西　重樹（自治連合会 副会長）
　　村上　晶一（市政協力委員連絡協議会 会長）、中井　貞一（保健協議会 会長）
　　藤田　清臣（東部地域環境対策推進協議会 副会長）